

## 株 主 メ モ

- 決 算 期 3月31日
- 定 時 株 主 総 会 毎年6月
- 株 主 確 定 基 準 日 (1)定時株主総会 3月31日  
(2)利益配当金 3月31日  
(3)中間配当金 9月30日  
(4)その他必要あるときはあらかじめ公告します。
- 名 義 書 換 代 理 人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
- 同 事 務 取 扱 場 所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
(お 問 合 せ 先) 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL. 03(5213)5213 (大代表)
- 同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞  
※当社は決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページ  
(<http://www.musashinet.co.jp>) に掲載しております。



株式  
会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号  
TEL.03-3546-7711  
<http://www.musashinet.co.jp>



# Musashi

## Interim Report

### 2004

株式  
会社 **ムサシ**

第84期 中間事業報告書

(2004年4月1日～2004年9月30日)



(注)セグメント間の取引については相殺消去しております。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第84期中間事業報告書をお届けするに際しまして、この間の営業の概況についてご報告いたします。

当中間期のわが国経済は、米国や中国の景気拡大を受け輸出が総じて好調だったことに加え、設備投資や個人消費も堅調に推移したため、原油価格の高騰や雇用・年金問題など先行きの不透明感はあるものの、景気は緩やかながら回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、7月実施の参議院選挙向け機材販売と11月の新紙幣発行に対応する紙幣処理機器の対策に取り組む一方、情報・印刷システム機材分野においてはデジタル関連機材の拡販に注力いたしました。

この結果、当中間期の連結売上高は215億69百万円（前年同期比9.0%増）、経常利益は11億31百万円（前年同期比345.4%増）、中間純利益は5億71百万円（前年同期は51百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

(情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、手形・小切手用スキャナーなどの金融機関向け画像処理機器の販売が落ち込んだことと、マイクロフィルム関連機材の販売が減少しました。

印刷システム機材は、印刷工程のデジタル化の進展によりCTPなどのデジタル印刷機材の販売が伸長しました。また、IPSシステム機材の販売もほぼ順調に推移しました。

以上の結果、売上高は132億66百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は56百万円（前年同期は営業損失52百万円）となりました。

(金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、新紙幣に対応する紙幣処理機器の改造・更新が金融機関向けに順調に推移しました。海外営業分野は、欧州向け販売は落ち込んだものの、中近東・アフリカ向け輸出が伸長しました。

選挙システム機材は、7月に参議院選挙が実施されたため、投票用紙読取分類機や投票用紙自動交付機、期日前投票所向け機材の販売が伸長しました。

以上の結果、売上高は44億22百万円（前年同期比60.2%増）、営業利益は8億78百万円（前年同期比855.7%増）となりました。

(紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、包装用紙の販売は伸長したものの、主力である塗工印刷用紙の販売が減少したことに加え販売管理費の増加もあり、売上高は37億70百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は31百万円（前年同期比59.2%減）となりました。

(その他)

その他のセグメントである不動産賃貸業、リース、損害保険代理業の売上高は2億21百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は74百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

代表取締役社長

小林厚一

## 連結貸借対照表 CONSOLIDATED BALANCE SHEETS

科 目	(単位：百万円)		
	前中間期 (2003年9月30日現在)	当中間期 (2004年9月30日現在)	前 期 (2004年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産			
現金及び預金	8,938	10,305	9,814
受取手形及び売掛金	8,149	8,429	9,505
たな卸資産	2,158	2,013	2,058
その他	470	561	569
貸倒引当金	△ 28	△ 28	△ 33
流動資産合計	19,689	21,280	21,914
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物	1,751	1,634	1,683
土地	2,799	2,689	2,689
その他	579	674	631
有形固定資産合計	5,130	4,999	5,004
無形固定資産			
連結調整勘定	300	212	256
その他	521	543	470
無形固定資産合計	822	756	727
投資その他の資産			
投資有価証券	2,035	2,395	2,534
差入保証金	4,286	4,463	4,373
その他	999	748	695
貸倒引当金	△ 118	△ 96	△ 103
投資その他の資産合計	7,203	7,510	7,500
固定資産合計	13,156	13,266	13,232
資産合計	32,845	34,546	35,147

科 目	(単位：百万円)		
	前中間期 (2003年9月30日現在)	当中間期 (2004年9月30日現在)	前 期 (2004年3月31日現在)
<b>負債の部</b>			
流動負債			
支払手形及び買掛金	9,736	9,723	10,428
短期借入金	2,914	2,676	2,637
未払法人税等	125	588	667
賞与引当金	429	438	440
その他	555	717	865
流動負債合計	13,761	14,144	15,039
固定負債			
長期借入金	202	170	186
退職給付引当金	437	362	407
役員退職慰労引当金	492	506	475
その他	336	320	333
固定負債合計	1,468	1,358	1,401
負債合計	15,229	15,503	16,440
<b>資本の部</b>			
資本金	1,208	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005	2,005
利益剰余金	14,294	15,524	15,090
その他有価証券評価差額金	108	307	403
自己株式	△ 0	△ 2	△ 0
資本合計	17,615	19,043	18,706
負債及び資本合計	32,845	34,546	35,147

## 連結損益計算書 CONSOLIDATED STATEMENTS OF INCOME

科 目	(単位：百万円)		
	前中間期 (2003年4月1日～ 2003年9月30日)	当中間期 (2004年4月1日～ 2004年9月30日)	前 期 (2003年4月1日～ 2004年3月31日)
売上高	19,781	21,569	43,278
売上原価	15,816	16,803	33,962
売上総利益	3,965	4,766	9,315
販売費及び一般管理費	3,761	3,723	7,504
営業利益	203	1,043	1,811
営業外収益	95	122	179
営業外費用	45	34	82
経常利益	253	1,131	1,908
特別利益	8	6	9
特別損失	37	16	182
税金等調整前中間(当期)純利益	225	1,121	1,735
法人税、住民税及び事業税	131	556	818
法人税等調整額	42	△ 6	6
中間(当期)純利益	51	571	910

## 連結キャッシュ・フロー計算書 CONSOLIDATED STATEMENTS OF CASH FLOW

科 目	(単位：百万円)		
	前中間期 (2003年4月1日～ 2003年9月30日)	当中間期 (2004年4月1日～ 2004年9月30日)	前 期 (2003年4月1日～ 2004年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	764	927	2,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	282	△ 258	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 177	△ 79	△ 501
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	0	△ 0
現金及び現金同等物の増加額	868	590	1,644
現金及び現金同等物の期首残高	8,056	9,701	8,056
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	8,925	10,291	9,701

## 連結剰余金計算書 CONSOLIDATED STATEMENTS OF RETAINED EARNINGS

科 目	(単位：百万円)		
	前中間期 (2003年4月1日～ 2003年9月30日)	当中間期 (2004年4月1日～ 2004年9月30日)	前 期 (2003年4月1日～ 2004年3月31日)
<b>(資本剰余金の部)</b>			
資本剰余金期首残高	2,005	2,005	2,005
資本剰余金中間期末(期末)残高	2,005	2,005	2,005
<b>(利益剰余金の部)</b>			
利益剰余金期首残高	14,334	15,090	14,334
利益剰余金増加高	51	571	910
中間(当期)純利益	51	571	910
利益剰余金減少高	91	137	154
配当金	63	95	127
役員賞与金	27	42	27
(うち監査役賞与金)	( 5)	( 5)	( 5)
利益剰余金中間期末(期末)残高	14,294	15,524	15,090

## 単体貸借対照表 NON-CONSOLIDATED BALANCE SHEETS

(単位：百万円)

科目	前中間期 (2003年9月30日現在)	当中間期 (2004年9月30日現在)
流動資産	17,989	19,596
現金及び預金	7,780	8,983
受取手形・売掛金	7,806	8,101
商品	1,826	1,745
その他	576	766
固定資産	11,094	11,453
有形固定資産	2,649	2,645
建物	829	784
土地	1,616	1,616
その他	203	245
無形固定資産	500	402
投資その他の資産	7,944	8,405
資産合計	29,083	31,050
流動負債	11,837	12,745
支払手形・買掛金	9,523	9,977
短期借入金	1,503	1,503
その他	811	1,264
固定負債	761	704
退職給付引当金	310	220
役員退職慰労引当金	414	453
その他	36	31
負債合計	12,599	13,450
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
資本準備金	2,005	2,005
利益剰余金	13,161	14,084
利益準備金	197	197
任意積立金	11,800	12,000
中間未処分利益	1,164	1,887
その他有価証券評価差額金	109	304
自己株式	△ 0	△ 2
資本合計	16,484	17,600
負債・資本合計	29,083	31,050

## 単体損益計算書 NON-CONSOLIDATED STATEMENTS OF INCOME

(単位：百万円)

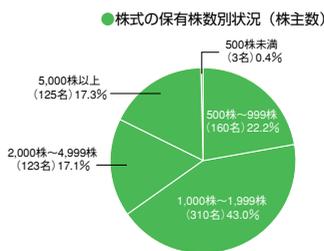
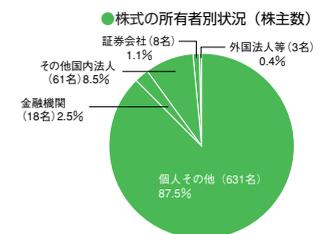
科目	前中間期 (2003年4月1日～ 2003年9月30日)	当中間期 (2004年4月1日～ 2004年9月30日)
売上高	18,660	20,528
売上原価	15,429	16,651
売上総利益	3,231	3,877
販売費及び一般管理費	3,068	3,042
営業利益	163	834
営業外収益	111	117
営業外費用	31	24
経常利益	243	927
特別利益	5	5
特別損失	32	10
税引前中間純利益	216	922
法人税、住民税及び事業税	79	402
法人税等調整額	21	23
中間純利益	116	496
前期繰越利益	1,048	1,390
中間未処分利益	1,164	1,887

## 株式の状況 STOCK INFORMATION

- 会社が発行する株式の総数 28,920,000株
- 発行済株式総数 7,950,000株
- 株主数 721名
- 大株主

株主名	当社への出資状況 持株数	議決権比率
上毛実業株式会社	1,365千株	17.19%
ショウリン商事株式会社	1,150	14.48
ムサシ社員持株会	639	8.04
羽鳥雅孝	360	4.53
株式会社みずほ銀行	360	4.53
ムサシ互助会	299	3.76
小林厚一	284	3.58
ソエテジェネラルバンクアンドトラスト	232	2.92
株式会社三井住友銀行	190	2.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	142	1.78

(注) 持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。



## 会社概要 CORPORATE DATA

商号 株式会社ムサシ  
設立 昭和21年12月  
本社 東京都中央区  
銀座八丁目20番36号  
資本金 1,208,500,000円  
従業員数 430名(2004年9月末日現在)  
主要取引銀行 株式会社みずほ銀行  
株式会社三井住友銀行  
関係会社 武蔵エンジニアリング(株)  
(株)ムサシ・エービーシー  
(株)ムサシ・ユニシステム  
ムサシ・アイ・テクノ(株)  
(株)国際マイクロフォト研究所  
エフ・ビー・エム(株)  
武蔵興産(株)  
(株)武蔵エンタープライズ  
(株)ジェイ・アイ・エム

### 役員

代表取締役会長 都木 恒夫  
代表取締役社長 小林 厚一  
代表取締役専務取締役 羽鳥 雅孝  
常務取締役 高木 彰彦  
常務取締役 伏脇 忠昭  
取締役 小林 好男  
取締役 長井 文弥  
取締役 白岩 園丸  
取締役 亀子 博  
常勤監査役 中馬 享純  
常勤監査役 川原 徹  
社外監査役 田村 護  
社外監査役 石井哲之介

## TOPICS トピックス

MUSASHI INTERIM REPORT 2004

### 新紙幣への対応

11月に新しいデザインの紙幣が発行されました。20年ぶりになる新紙幣の登場により、金融機関やデパート・スーパー、宅配業などでは当社製の紙幣処理機器を新札に対応させるため、機器の改造や更新が急ピッチで進められています。



紙幣入金整理機

現金自動収納機

### 参議院選挙で 投開票業務をサポート

7月の参議院選挙では、投票用紙に書かれた手書き文字を高速で読み取り候補者別に自動分類する投票用紙読取分類機が好評となり多くの自治体に導入されました。また、今回は期日前投票所向けの各種機材が目立っていました。これからも制度改正に対応する機器の開発に注力し、選挙業務の効率化に貢献してまいります。



投票用紙読取分類機



投票用紙自動交付機